

令和5年第1回北海道議会臨時会 質疑 開催状況
(経済部経済企画局経済企画課)

開催年月日 令和5年5月17日

質問者 日本共産党 真下 紀子 議員

答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 これまでの対策による効果と成果の検証等について (真下議員)</p> <p>国の支援とともに、道はコロナ禍における価格高騰等緊急経済対策として、昨年7月以降、4度にわたって総額で約742億円の補正予算を実施してきましたが、道内の賃金上昇は12か月連続減少となっています。年金受給者は年金額を削減されたうえに、高齢者医療費・保険料とも負担が増大し、長期化する物価高騰の影響は増大の一途を辿っております。道の対策効果は全く不十分と考え、先月知事に対し物価・エネルギー高騰対策を要請したところですけれども、改めて現状の認識を伺うとともに、取組の効果と成果をどう検証し、今後どう取り組むお考えなのか伺います。</p> <p>二 経済対策実施の考え方について (真下議員)</p> <p>特に2月に急施を要するとしてお米・牛乳子育て応援事業を先議議決したにもかかわらず、驚くことに申請が5月10日からです。多くの費用がかかる新学期準備の時期を逃し、5月からの申請では緊急性に対応した対策とは到底言えません。</p> <p>また、先議決定時には、「18歳以下」の判断時期について明確になっておらず、先議決定時には18歳以下だった方でも、事業対象に含まれていないという方もいらっしゃいます。排除することなく対象とすべきであったものと考えます。</p> <p>このような問題点について、知事はどう反省し、今回の経済対策を実施しようとしているのか見解を伺います。</p>	<p>(知事)</p> <p>これまでの対策の検証などについてであります。道では、昨年7月に決定した「緊急経済対策」に基づき、地域や事業者の皆様の支援ニーズの的確な把握に努めながら、物価上昇への影響の緩和に向けた各般の施策に取り組んでまいりましたが、現下の経済状況は、生活者や事業者にとって厳しい状況が続いております。</p> <p>こうした中、道といたしましては、経済対策推進本部を通じ、執行状況や成果の把握に努めてきたところであります。</p> <p>その結果、影響の緩和や需要喚起、事業継続意欲の向上につながってきたと考えており、引き続き、道民の皆様暮らしや中小・小規模事業者の方々への影響が緩和されるよう、各般の施策に取り組んでまいります。</p> <p>(知事)</p> <p>お米・牛乳子育て応援事業についてであります。本事業については、2月に議決いただいた後、直ちに、受託事業者の選定や契約を行い、電子申請並びに電子クーポンシステムの構築、コールセンターやホームページの開設、申請書や手引きの印刷・発送など必要な準備を速やかに進め、平成17年4月2日以降に生まれた子どもがいる世帯を対象に今年10日から申請受付を開始したところであります。</p> <p>道としては、本臨時会に提案した予算案についても議決後、直ちに、丁寧な周知に取り組むとともに、より、迅速かつ効果的な執行が図られるよう努めてまいります。</p>